

みどり戦略

ビジョン

JAいわてグループ・みどり戦略ビジョンの取り組みについて

(令和8年度～令和10年度 第Ⅱ期)

1. はじめに

JAいわてグループでは、農林水産省が掲げる「みどりの食料システム戦略」への対応に向け、令和5年度に本県の農業分野における取り組みを具体化した「純情産地いわて みどり戦略ビジョン」を策定し、取り組みを進めてきました。令和6年11月に開催された第47回JA岩手県大会においても、「純情産地いわて みどり戦略ビジョン」の取り組み促進が決議されたことか

ら、環境負荷を低減した持続可能な農業生産に向け、令和8年度より3か年での新たな取り組みをすすめていきます。

令和8年度からの3か年は、「純情産地いわてみどり戦略ビジョン(第Ⅱ期)」として以下の取組方針の実現にむけてすすめてまいりますので第Ⅰ期同様JA・生産者みなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

2. 取り組み方針

(1)脱炭素

カーボンニュートラルに向けた温室効果ガスの削減や、園芸施設および農業機械の石油燃料利用の削減をはかるため、スマート農業などの技術・手段を活用し「脱炭素」に向けて具体策を実行します。

の継続や未利用資源の活用、耕畜連携強化による堆肥利用など、輸入原料に大きく依存しない手法を確立・実践し「環境保全」に寄与します。

(3)持続可能な農業生産

GAP認証取得や農作物の栽培技術の向上に取り組む、将来に繋げる「持続可能な農業生産」の構築を目指します。

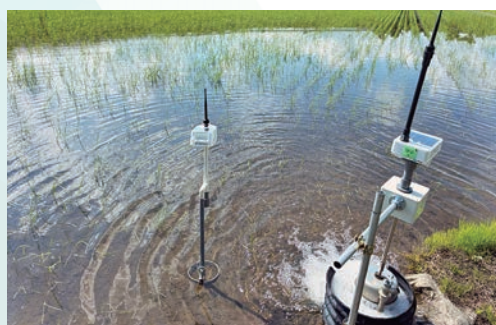
(2)環境保全

化学肥料・農薬の使用量低減に向けて、特別栽培

3. 「純情産地いわて みどり戦略ビジョン(第Ⅱ期)」の取り組み

第Ⅱ期は、「脱炭素」「環境保全」「持続可能な農業生産」「その他」を分類し、各部門で内容を選定した10のメニューで取り組みを進めてまいります。生産基盤の

維持・拡大とともに、消費者に対しても取り組みを発信することで、県下JAとともに「ひと」「環境」にやさしい農畜産物生産への理解醸成をはかります。



farmo給水バルブ



アクアポート



バイオ炭施用試験散布

取り組みメニュー

分類	テーマ	メニュー	達成を目指す目標	最終目標
脱炭素	温室効果ガス削減	(1)	脱炭素・環境保全型農業の普及	水稻栽培における脱炭素・環境保全型農業の定着【米穀】 ▶中干延長・秋耕割合80% ▶全農統一フレコン導入80% 効率的な輸送体系確立、全農統一フレコンの定着化【米穀】
		(2)	バイオ炭施用による土壌改良	園芸品目園場でバイオ炭施用、土壌改良効果の検証【営農】
		(3)	牛の「げっぷ」抑制の実証と成果物の事業化検討	牛の「げっぷ」抑制による温室効果ガス削減【畜産】
環境保全	適正施肥	(4)	土壌診断による適正施肥	土壌診断実施件数 5,000点【営農】
	農薬使用量低減	(5)	箱剤インターバル防除(水稻初期害虫・紋枯病)による農薬使用量減	インターバル防除方法の確立【営農】
	プラスチックの排出抑制	(6)	新規脱プラ肥料の試験	脱プラ肥料2種試験完了および普及に向けた協議・検討【営農】
	特別栽培米の面積維持	(7)	特別栽培米の面積確保(収量確保資材導入)	令和7年度米面積の維持 5,178ha【営農】
持続可能な農業	省力化	(8)	スマート技術の活用による持続可能な営農活動の展開	スマート技術活用件数267件【営農】
			農作業省力化に向けた農業機械促進	省力化農機の更なる普及(自動操舵・直進アシスト機能搭載機、ラジコン草刈機)【生資】
	気候変動への対応	(9)	バイオスティミュラントの活用	バイオスティミュラント施用技術の確立
			バイオスティミュラント資材の施用による単収増・品質向上・化学肥料削減	バイオスティミュラント資材を組み入れた栽培体系を確立【園芸】
			植物が本来持っている力を引き出し、環境ストレスへ耐性向上・植物の成長促進への寄与する	試験を通じた農家の理解向上と普及拡大【生資】
その他	内外への発信	(10)	取り組み内容の発信	各種媒体による取り組み発信【管理】



園芸部
園芸特産課
佐々木 仁

果樹の獣害と対策

近年、ツキノワグマを始めとする獣類(写真1)の農作物への被害(写真2)が激増しており、果樹についてもホンシュウジカやハクビシンなど多くの獣種が加害しています。

対策としては、餌となり得る実のなる樹木の管理や生ゴミ等の適正処理など環境の整備、猟銃やワナによる個体数の制限などありますが、被害防止には電気柵の活用が効果的です。電気柵には常設タイプのフェンシングワイヤーを用いたものや、簡易電気柵(写真3)などありますが、獣種や被害の程度によって使い分けることになりますので、設置に当たっては専門家のアドバイスを受けましょう。具体的には各市町村の担当にお問い合わせください。

なお、ツキノワグマによる人身被害も急増していますので、園地の周囲は藪や背の高い草などを定期的に刈払い、見とおしの良い環境を維持するとともに、農作業は複数で行い常に鈴やラジオなど音が聞こえるよう心掛けてください。また、糞(写真4、5)や食痕などクマの侵入が確認された場合は要注意です。

最後に、興奮して突進してくるクマに対して簡易電気柵は役に立ちません。電気柵内に逃げ込んでも無駄ですので、遭遇したら背中を向けて走らないこと、攻撃されたら両腕で顔や頭をカバーし地面に伏せて防御するなどの対応が重要です。また、クマよけスプレーは必需品です。



写真1 ブルーベリー園に侵入したタヌキ



写真2 タヌキによるりんご(はるか)下枝の被害



写真3 簡易電気柵



写真4 りんご(はるか)を食べたクマの糞



写真5 ももを食べたクマの糞

「純情産地いわて」が目指す「理想像」その3つの柱。

「つなげる」

いわての農業を継承し、
価値を高め、
未来へ繋げる。



JAいわてグループ農業機械フェア

令和8年6月19日(金)

6月19日と20日の2日間、奥州市のJA江刺本所特設会場で「JAいわてグループ農業機械フェア2026」が開催されました。

同フェアは、JAいわてグループが「純情産地いわて」の生産基盤維持・拡大に向けた農業機械コストの低減・作業効率化を目的に毎年開催しています。今年は、のべ2,020人の来場者数が訪れました。展示会では、農業機械メーカーや肥料・農薬メーカーなど40社が出展し、機能を厳選しコストパフォーマンスを高めた「共同購入コンバイン」をはじめ、最新鋭のスマート農機や農業用ドローン、お買い得なアウトレット・中古農機など、さまざまな農業機械や資材を展示しました。さらに乾田直播栽培技術やバイオスティミュラントをテーマにした講習会も開かれるなど、多様な情報提供の場となりました。



最新の農業機械や農業生産資材が並び、来場者で賑わう展示会場

「ひろげる」

生産者とともに、
その想いを
消費者の食卓へと
広げる。



2026いわて純情むすめの認定式を開催しました

令和8年6月25日(木)

6月25日(木)岩手県産業会館で2026いわて純情むすめ認定式を開催しました。認定式では高橋県本部長による認定証および副賞の授与、純情産地いわて応援団長の天津木村さんによるたすきの授与が行われました。今回は、岩手県内の若手生産者を代表して15代目JAいわて純農Boyの高橋輝さんが出席しました。当日は、事前研修にて2026いわて純情むすめが高橋さんの圃場で農作業体験を行った様子の動画上映を行いました。



JAいわて純農Boyの高橋さんから農畜産物の贈呈

その後、JAいわて純農Boyの高橋さんから2026いわて純情むすめにエールが送られるとともに生産者の想いが込められた野菜や県のオリジナル品種である銀河のしずく、いわて牛ローストビーフなど県産農畜産物が贈呈されました。

「根を張る」

地域社会の
一員として、
強く根を張る。



大相撲春日野部屋、久慈で夏合宿県産米「白銀のひかり」を贈呈

令和8年6月12日(金)

「いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会」は、久慈市での「大相撲春日野部屋夏合宿」の実施に合わせ、岩手県オリジナル水稻品種「白銀のひかり」100kgを贈呈しました。

6月12日の贈呈セレモニーは、久慈市長内町の「宇部煎餅店相撲場」を会場に開かれ、久慈市山形町出身の二十山親方(元小結栃乃花)や栃大海関らが出席しました。岩手県白銀のひかり栽培研究会の新井野勉会長から目録を受け取った二十山親方は「いただいたお米をたくさん食べて力をつけ、名古屋の本場所では先場所よりも良い成績を残せるよう一生懸命頑張りたい」と感謝と抱負を語りました。



「白銀のひかり」の米俵を持つ栃大海関(左)と二十山親方(右)

各事業部の取り組み

各事業部における活動を紹介します。今回は園芸部生産販売課の取り組みについてです。

園芸部生産販売課では、夏季の高温や干ばつの影響による園芸品目の収量・品質低下への対応を強化し、高温対策資材やバイオスティミュラント資材への助成を拡大し普及をすすめることで、生産基盤の維持・拡大に取り組みます。また、園芸品目実証農場(ミニトマト・ピーマン)における試験・実証の充実を図り、その成果を県内産地へ展開することで、生産力の向上と安定生産の確立を

目指します。

また、販売対策として直接販売の拡大や「オールいわて」による販売力強化を進めるとともに、生産・流通コスト上昇を踏まえた適正価格販売への理解促進に取り組み、生産者所得の確保に努めます。さらに、レンタルパレットの活用や集約輸送を推進し、物流の効率化と輸送コストの低減を図ってまいります。

生産振興対策

- 暑熱対策普及拡大に向けた助成事業の強化
- 関係機関と連携した品質維持へ向けた対策強化
- バイオスティミュラント資材施用実証の拡大と普及推進
- 「ういずOne展示園場」での実証継続とコスト低減栽培への取り組み
- 「先進園芸実証農場」で確立した技術の普及推進



ういずOne展示園場



先進園芸実証農場



岩手県知事とJAいわてグループ「いわて純情野菜トップセールス」※昨年度の様子

販売対策

- 重点市場・量販店への出荷拡大と直接販売取引の拡大
- 生産・流通コスト上昇を踏まえた「適正価格販売」の強化
- 品質強化対策実施による園芸品目の販売先確保
- 物流の強化とレンタルパレットの利用拡大
- 実需者への利用促進を目的とした消費宣伝活動の強化

▼ JAタウン野菜の日キャンペーン

JA全農が運営する産地直送通販サイト「JAタウン」では、8月21日(金)から9月3日(木)の間、「野菜の日キャンペーン」を開催します。このキャンペーンは「8月31日 野菜の日」にあわせて実施するもので、対象の野菜ボックスが“お客様の送料負担なし”でご購入いただけます。

いわて純情セレクト



いわて純情野菜 旬の詰め合わせBOX ¥3,450(税込)

盛岡の青果卸 戸塚商店の「目利き」で厳選した「いわて純情野菜」を7～8品目お届けします!

- 内容：きゅうり・トマト・ピーマン・キャベツ・生しいたけ・とうもろこし・えだまめ・なす・いわて春みどり など

ご購入はこちらから! ▶▶ <https://www.ja-town.com/shop/g/g2103-11-04/>



いわて純情セレクト



～岩手の農畜産物を大切なあの方へ～

いわて純情米、いわて牛、乳製品、お酒、加工品を贈答用・家庭用にぜひご利用ください。

<https://www.ja-town.com/shop/c/cB4/>

いわて純情セレクト





新規ご契約 プレゼントキャンペーン

JAでんき新規お申し込み いただいた方へ

デリシャスハンバーグ 4種セットプレゼント!



(セット内容:デミグラスソース、カレーソース、とまとソース(チーズ入り)、和風ソース各125g×1P)

※本キャンペーンは予告なく終了する場合がございます。お早めにご検討ください。
※特典内容は変更となる場合がございます。



組合員のみなさまが日々ご利用されている電気の

料金をお安くするために、JAグループが取り扱う電気メニューです。
切り替え簡単、JA口座をそのままご利用できます。



■お問い合わせ (JA代理事業者)

- JAいわて中央 燃料課
Tel.019-697-6446
- (株) E-ポート ガス課
Tel.0197-35-7874
- JAいわて平泉 ガスセンター
Tel.0191-34-5701
- JAおおふなと 生活経済課
Tel.0192-26-4044

● (株) JAグリーンサービス花巻

- LPGセンター花巻
Tel.0198-31-3200
- LPGセンター北上
Tel.0197-68-4800
- LPGセンター西和賀
Tel.0197-85-3332
- LPGセンター遠野
Tel.0198-62-5394
- LPGセンター大槌
Tel.0193-42-2668

 **JAでんき**
ホームページはこちら



 **全農東北エネルギー株式会社**

編集後記

8月31日は「野菜の日」です。私の推し野菜は「なす」です!
「いわて純情野菜」をたくさん食べて、元気をチャージしましょう。(仲村)

KLARA

タイトルのKlara(クラーラ)は、宮沢賢治の手帳にしている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。
全農の未来がそして世の中全てが、明るく晴れやかになるという願いが込められています。



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

— 私たちは「安心」を3つの視点で考えます。 —

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 純情ブランド推進室
JA 全農いわてホームページ

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8629 FAX019-626-8634
<https://www.junjo.jp>

